

村上市塩野町の現場では3チームに分かれて作業を行っていた。写真は切り倒された木をプロセッサで枝払い、玉切りをし、集積する齋藤拓真さん

若い人たちに熟練の技術を伝え 先代が育てた山を後世へ繋ぐ

県内でも有数の林業地帯として知られる村上市。いわふね森林組合は平成10年にいわふね南部森林組合と朝日村森林組合が合併して設立した。林業が盛んだった昭和40年代には造林・植林をメインに行っていたが、現在の主な仕事は利用間伐と森林整備。現在、森林技術員は12名で20〜40代の若い世代が活躍していることが特徴だ。作業はベテランチームが伐採、若手チームは重機を担当。作業効率アップと「若い人には林業の幅広い仕事を楽しんでほしい」という思いから高性能林業機械も積極的に活用している。

技術員の仲が良いからチームワークも良く、若手の成長にも期待が高まる。特殊伐採をはじめ、熟練の技術の継承がこれからの課題だ。さらに「利用間伐は木材の売上や補助金もあるので山主さんに還元できますが、山の将来のためには森林整備の推進と植栽が大事」と中山金重組合長。森林施業プランナーとともに植栽の提案にも意欲的だ。「林業は再生可能な産業。先代が植えてきた木を手入れしている私たちが山を後世に繋いでいかなければならない。使命感があります」と話した。



①ベテランチームがチェーンソーで伐倒した木をプロセッサで集積していく。近年、利用間伐が増えたので高性能林業機械をそろえた。ほかにグラブ、バックホウ、フォワーダを使用 ②左から総務課長の渡辺友樹さん、森林技術員の齋藤拓真さん、野村直哉さん。渡辺さんは森林技術員の経験があり、森林施業プランナーの資格も持つ



緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌
Niigata Forestry Magazine

林業事業体レポート▶

File 01


村上市

いわふね森林組合

③倒された木をチェーンソーで枝払いする森林技術員の野村直哉さん。「外で働く仕事に魅力を感じて林業に転職しました」 ④枝払いした木を一定間隔に玉切りしていく。尺棒を当てている佐藤拓郎さんは3年目。齋藤拓真さんの高校の後輩だ ⑤野村さんたちが作業している小高い山から下の作業場を見たところ




現場で必要とされる存在に



齋藤拓真さん
Saito Takuma
年齢:21歳 林業経験:4年

高校生のときに総合学科で林業を選択し、実習で草刈りや伐倒を体験して、この林業の仕事をやりたいと思いました。仕事の結果が目に見えて分かるのでやりがいを感じられます。若い人がいなかったのですが先輩たちがとてもやさしく、ゼロから丁寧に指導してもらいました。伐倒も重機も、それ以外の仕事でもまだ一人前とはいええないと思うので、技術を磨いて現場で必要とされる存在になることが目標です。



林業に関する仕事は全て面白い



野村直哉さん
Nomura Naoya
年齢:41歳 林業経験:5年

「野外で働ける仕事がいいな。木を伐ってみたいな」という単純な思いから35歳のときに転職しました。今は重機をメインに担当しています。こうして5年も続けてこれたのは、林業には木を伐るだけじゃなくて、さまざまな仕事があるからだと思っています。飽きないし、それぞれにやり方があってコツをつかむまでは大変ですが、とても面白いんです。山での仕事は開放感があるので気持ち良く仕事をしていますよ。



緑の担い手

大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち



① 伐採を行っていた村上市塩野町の現場。小高い山の上ではP8右下の野村さんたちが作業を行っている
② 森林技術員12人のうち半分が20～40代と若手が多い。「あまり年齢を気にしない職場だから社員全員仲が良いのかな(笑)」と指導員の貝沼文彦さん(上左) ③ 約9ヘクタールもの広大な現場は日本海東北道予定地 ④ 「山に関する仕事なら何でもやります。林業にはほかの業種にはない価値がありますよ。」と指導員の貝沼文彦さん



事業体Data

いわふね森林組合

住所/村上市羽黒町2-38電話0254-52-1593
設立/平成10年 資本金/2,747万円
従業員数/17人(森林部門12人)
勤務時間/8:00~17:00 主な勤務地/村上市周辺
主な従事業務内容/森林整備、特殊伐採

事業主コメント

いわふね森林組合 代表理事組合長 中山金重さん

当組合の職員は20代から40代前半の若手が多いのが特徴です。以前はベテラン職員が多かったのですが、今後を見据え、近年は若手を積極的に採用しています。最近ではベテラン職員から日々、アドバイスを受けて若手職員の技術も向上してきました。この先の組合の将来が楽しみです。管内に放置された森林の整備を組合の使命と考えて今まで以上に森林整備を進めていきたいと思っています。

